

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 金 1	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語 I Chinese I			
対象年次 1 年次	講義形態 講義	教室		
対象学生(クラス等)	T 五	科目分類 外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員：高山乾忠 /Eメールアドレ：takayama@wesleyan.ac.jp /研究室：非常勤講師控室 /TEL： /オフィスアワー				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい：入門段階で必要と思われる中国語のローマ字表記法であるピンインと声調を習得させ、発音の基礎を作り、音節を聞き分け、発音できるようにする。置き換え練習などを通じて、約300の単語を習得させ、簡単な会話ができるようにさせる。</p> <p>授 業 方 法：日本語と中国語の発音を比較することによって音の特徴をつかませ、辞書を用いて発音を調べ、読めるようにする。授業の中で集中的に繰り返し発音練習を行い、会話能力を身につけながら単語・文法においての基礎を固める。</p> <p>授業到達目標：(財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中語技能検定試験」(準5級)の資格を目指す。</p>				
<p>授業内容(概要)</p> <p>本講義は、Ⅰ. 発音、Ⅱ. 基本文法、Ⅲ. 日常会話の三部から構成されているため、最初の4回は発音を中心に、五回目以降は各課の単語の聞き取り、文法の説明、本文の会話練習や聞き取り、練習問題の学習という順に講義を行い、14回目に総復習を実施し、テストに臨む。</p> <p>第1回 … 第1課 発音 1. 短聞き取り母音 声調 半三声 無気音と有気音</p> <p>第2回 … 発音 2. 子音 そり舌音 複母音 声調の変化 軽声</p> <p>第3回 … 発音 3. 鼻母音 アル化音 声調符号の位置</p> <p>第4回 … 発音 4. 二音節声調の組合せ 発音の総復習</p> <p>第5回 … 第2課 您是哪国人? (1) 人称代名詞 (2) 名前の聞き方</p> <p>第6回 … (3) 判断文 (4) “喝” 疑問文 (5) 疑問詞疑問文</p> <p>第7回 … 第3課 一起去图书馆 (1) 動詞述語文 (2) 所有を表す“有”</p> <p>第8回 … (3) 副詞“都”“还”“再”</p> <p>第9回 … 第4課 家人 (1) 家族を聞く (2) 年齢を聞く</p> <p>第10回 … (3) 数の数え方 (4) 形容詞述語文</p> <p>第11回 … 第5課 食堂在哪儿? (1) 指示代名詞 (2) 所在を表す“在”</p> <p>(3) 動作の行われる場所を表す前置詞“在～”</p> <p>第12回 … (4) 反復疑問文 (5) 連体修飾助詞“的”</p> <p>第13回 … 第6課 过生日 (1) 年月日、曜日、時間の言い方</p> <p>(2) 判断を示す動詞“是”の省略</p> <p>第14回 … 第1課～第5課までの復習を行う</p> <p>第15回 … 授業の総括 及び 前期 試験</p>				
キーワード				
教科書・教材・参考書	「簡明基礎中国語」 高山 乾忠 著 (白 帝 社) (日中・中日辞典) 中日電子辞書			
成績評価の方法・基準等	全体が100% うち:授業への積極的な参加状況、平素の学習意欲や態度など 30% 定期試験の成績などを総合的に評価する。70%			
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする			
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				